



Japan Foundation for
Regional Art-Activities

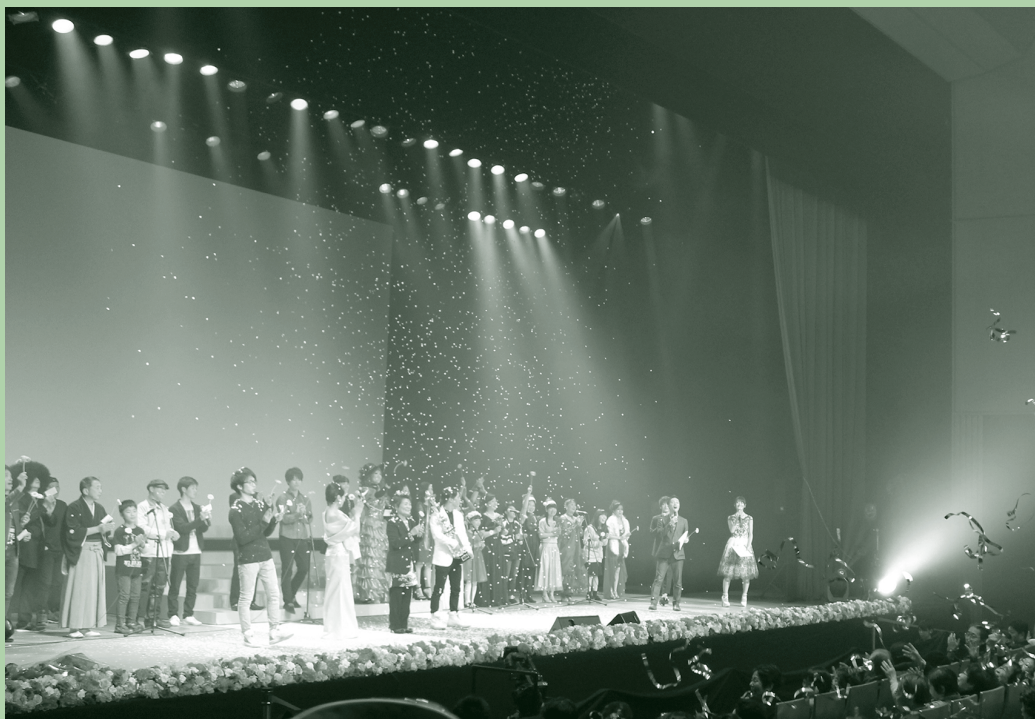
地域創造レター

12月号—No.331

2022.11.25

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew



東海市紅白歌合戦(愛知県東海市)

●目次 / contents

クリスマス&年越し・新春企画特集

公演カレンダー.....2

今月の情報.....6

地域通信

財団からのお知らせ..... 10

「特別寄稿 ビューポイント view point」掲載について / 「公共ホール求人情報」掲載お申し込み方法 / 令和4年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」スタート / 令和4年度市町村長特別セミナー「地域経営塾」終了報告

今月のレポート..... 12

神戸市 神戸アートビレッジセンター(KAVC) プロデュース公演
手話裁判劇『テロ』

発行元：一般財団法人地域創造
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11
オリックス赤坂2丁目ビル 9F
Tel. 03-5573-4066 Fax. 03-5573-4060
URL: <https://www.jafra.or.jp/>



クリスマス&年越し・新春企画特集



恒例の「クリスマス&年越し・新春企画特集」の季節となりました。定番のプログラムからユニークな企画まで、各地の取り組みを一挙にご紹介します。

Ⓔは会場、Ⓕは問い合わせ先です(ⒺⒻは地域創造助成事業)。

写真

左上：メディキット県民文化センター「パイプオルガン プロムナード・コンサート」(宮崎県宮崎市)

右上：ラブリーホール「ラブリーホール・ミュージカルスクール クリスマス・コンサート」(大阪府河内長野市)

左下：やまと芸術文化ホール「市民がつくるコンサート」(神奈川県大和市)

右下：豊田市コンサートホール「コンサートホール・クリスマス・フェスティバル」(愛知県豊田市)

クリスマス企画

●札幌市 12月17日

クリスマスオルガンコンサート

9月に就任した第23代Kitara専属オルガニスト、ヤニス・デュボワ(フランス)がバッハやフランクの名曲を奏でるほか、札幌旭丘高校・札幌山の手高校合唱部とお馴染みのクリスマスキャロルを披露する。そのほか、三ツ橋敬子を指揮に迎え、札幌交響楽団が出演する恒例のコンサート「Kitaraのクリスマス」も開催(12月24日)。

ⒺⒻ札幌コンサートホールKitara
Tel. 011-520-2000

●福島県福島市 12月18日

古閑裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」パイプオルガン・クリスマスコンサート

福島ゆかりの音楽家で構成され、音楽堂を拠点に活動する古閑裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」によるクリスマスコンサート。今年もゲストソリスト4名を迎え、オーボエ協奏曲やクリスマスキャロル、コラール変奏曲『きよこの夜』などを演奏。音楽堂が誇るパイプオルガンの音色も楽しめる。

ⒺⒻふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) Tel. 024-531-6221

●岩手県盛岡市 12月11日

The King's Singers Christmas Concert

「アカベラの王様」と称される英国発の男性アンサンブル「ザ・キングズ・シンガーズ」が4年ぶりに来日。世界各国のクリスマス名曲のほか、日本初演となる久石譲の委嘱作品を熱唱する。一部の曲では、キャラホール少女合唱団とも共演。

Ⓔキャラホール
Ⓕ盛岡市文化振興事業団
Tel. 019-637-6611

●茨城県水戸市 12月24日

クリスマス・プレゼント・コンサート2022

水戸出身で日本を代表する作曲家・池辺晋一郎の企画とお話して贈る水戸芸術館恒例のクリスマスプログラム。毎年恒例のクリスマス・プレゼント・コーナーのほか、児童合唱やチェロ、声楽、器楽アンサンブルといった豪華な内容となっている。

Ⓔ水戸芸術館
Ⓕ水戸市芸術振興財団
Tel. 029-227-8111

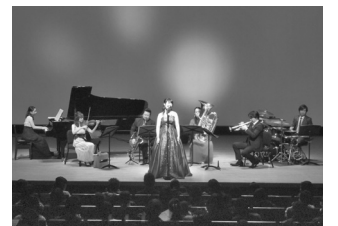
●さいたま市 12月11日

プラザノースdeクリスマス キッズコンサート/ファミリーコンサート

キッズコンサートは0歳児から、

ファミリーコンサートは3歳児から入場可能で、家族一緒に楽しめる。毎年大人気のクリスマスコンサート。弦楽器や管楽器、打楽器、ピアノ、歌とバリエーション豊かな内容で編成し、今年度初の試みとして公募した歌詞(言葉)に出演者が曲をつけたオリジナルソングも演奏する。

ⒺⒻさいたま市 プラザノース
Tel. 048-653-9255



昨年のコンサートの様子

●千葉県習志野市 12月22日

親子で楽しむ パイプオルガン・クリスマス

子どもたちが自分の住む地域で、家族や友達と一緒にパイプオルガンの演奏を間近で体感する機会を提供する。オルガニストは国内多数のホールで演奏会経験の豊富な浅井美紀。単なる子ども向けの演奏会ではなく、レクチャーあり、曲の解説ありで、大人も充分楽しめる内容となっている。

ⒺⒻ習志野文化ホール
Tel. 047-479-1212

●東京都立川市
12月23日～25日

立川シアタープロジェクト・子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台vol.6『青い鳥 ～チルチルミチルの冒険～』

立川から質の高い演劇作品・演劇空間の創造・発信や人材育成を目指す「立川シアタープロジェクト」の一環で、毎年クリスマスに、名作文学を題材に、世代を超えて親しめるオリジナル作品を上演するシリーズ。子どもたちが実際に舞台上で使用される舞台美術を製作したり、劇中のダンスを体験するワークショップ「子ども未来エンゲキ部」(17日)も行われる。

☎たましんRISURUホール
☎立川シアタープロジェクト実行委員会(たちかわ創造舎)
Tel. 042-595-6347



『青い鳥 ～チルチルミチルの冒険～』

●横浜市 12月17日
サルビア・クリスマスコンサート～サルビア・アーティストバンクメンバーのスペシャルコンサート～

年間を通じてアウトリーチなど地域に密着した活動を行っている「サルビア・アーティストバンク」のメンバーによるクリスマスコンサート。弦楽器四重奏の「カルテット リラ」、ソプラノ・バリトン・ピアノの「ピッコラナーベ」、打楽器三重奏の「ポップスコッチ」が『サンタが街にやってくる』やクリスマスメドレーなどの楽曲を歌と楽器のアンサンブルで贈る。

☎☎鶴見区民文化センターサル

ビアホール Tel. 045-511-5711

●神奈川県横須賀市 12月24日
ヨコスカ ジャズ ドリームス ライブシリーズ2022 Lowland Jazz クリスマス・ライブ

ジャズが日本で最も大きく開花した地・横須賀を舞台に、年間を通じて多彩なジャズ・ライブを展開する「ヨコスカ ジャズ ドリームス ライブシリーズ」。クリスマスは“Jazzの敷居を低く”をコンセプトに掲げて活動する若手ビッグバンドのローランドが、ジャズのほか、ボーカロイドやアニメソングをアレンジした楽曲で横須賀のクリスマスイヴを盛り上げる。

☎ヨコスカ・ベイサイド・ポケット
☎横須賀芸術劇場
Tel. 046-828-1600

●神奈川県小田原市
12月24日、25日
三の丸クリスマスオペラ『ヘンゼルとグレーテル』&クリスマスコンサート

“音楽を楽しむ1日”として、名作オペラとクリスマスソングを小田原ゆかりの歌手たちでお届けする。第1部はオペラ『ヘンゼルとグレーテル』をハイライト版で、第2部ではクリスマスお馴染みの名曲を披露する。舞台美術も地元アーティストが制作するなど、地域のアーティストとクリスマスを盛り上げる。

☎☎小田原三の丸ホール
Tel. 0465-20-4152

●山梨県南アルプス市
12月24日
クリスマスオルガンコンサート2022

ホールシンボルともなっているフランス・オーベルタン社製のパイプオルガンによるクリスマスコンサート。毎年、さまざまな楽器や声楽などとコラボレーションし

てきたが、今回はオルガニストの菅哲也が山本英助のトランペットと共演。ライトアップされた美しいパイプオルガンから奏でられる多彩な音色を聴きながら、クリスマスの雰囲気を楽しめる。
☎☎桃源文化会館
Tel. 055-284-3411

●長野県長野市 12月10日
Everlyクリスマスコンサート2022

長野市芸術館が開館した2016年以來、毎年恒例となっているEverly(エバリー)のコンサート。クラシックやポップスなど変幻自在なハイブリッド・サウンドをもつジャンルレス・バンドが、アイデアいっぱいのパフォーマンスや参加型のプログラムで会場を盛り上げる。コンサートに先駆けて市内の子どもたち(23校・約4,500人)に向けた訪問コンサートも行われた。

☎☎長野市芸術館
Tel. 026-219-3100



昨年のコンサートの様子

●静岡県袋井市 12月18日
みんなで楽しむクリスマスコンサート

袋井市の小中学校に毎年演奏をお届けしているプロオーケストラ「月見の里うさぎオーケストラ」と合唱団が贈るクリスマスコンサート。館がコンサートのために立ち上げたこども合唱団「月見の里こうさぎ合唱団」と、地元の合唱団「合唱団ふくろう」が共演。耳なじみのあるクラシックの名曲だけでなく本格的なクラシック音楽も楽しめる構成。合

唱曲も、名曲に加え、ポップス曲なども交えてお届けする。
☎☎袋井市月見の里学遊館
Tel. 0538-49-3400



昨年のコンサートの様子

●名古屋市 12月23日、24日
開館30周年記念 クリスマスはオルガンだ!2022 ～きらめく天上の歌～

20年続く恒例のクリスマスコンサート。愛知県出身で劇場専属のオルガニスト・都築由理江とカウンターテナーの村松稔之が共演し、バッハ＝グノー『アヴェ・マリア』やアダン『オー・ホーリー・ナイト』などロマンティックで華やかな曲を披露する。毎年好評を博している演奏風景のスクリーン投影も行う。

☎☎愛知県芸術劇場
Tel. 052-211-7552

●愛知県豊田市 12月17日
とよたハートフルシリーズ2022 コンサートホール・クリスマス・フェスティバル「あわてんぼうのサンタクロースからのおくりもの」

毎年恒例の、親子で本格クラシックを楽しめるコンサート。クリスマスお馴染みの楽曲を、愛知室内オーケストラとパイプオルガンの演奏でお届けする。演奏中の楽器を舞台上で撮影し、リアルタイムでスクリーンに映し出す試みも。また、指揮者体験や弦楽器・打楽器体験、普段見られないコンサートホールの裏側を体験するワークショップなども充実させる。

☎豊田市コンサートホール

豊田市コンサートホール・能楽堂 Tel. 0565-35-8200

●三重県津市 12月17日

アルスシンフォニエッタ&祝祭合唱団 クリスマスコンサート

アルスプラザ館長でオーボエ奏者の脇岡宗一プロデュースにより、津市周辺で活動する音楽家を迎えてお届けする「音の津」シリーズ第4弾。プロの演奏家集団「アルスシンフォニエッタ」と市民参加の合唱団「祝祭合唱団」により、オーケストラの美しい演奏と伸びやかなコーラスのコラボレーションを楽しむことができる。

豊田津市久居アルスプラザ
Tel. 059-253-4161

●大阪府河内長野市 12月25日

ラプリーホール・ミュージカルスクール クリスマス・コンサート

ラプリーホール・ミュージカルスクールによるステージパフォーマンス。リトルクラス(小学1~3年生)のかわいい歌声と、本クラス(小学4年生以上)による華やかなステージをクリスマス・コンサートとしてお届けする。曲目は竹内まりや『すてきなホリデイ』、フィンガー5『学園天国』などを予定している。

ラプリーホール
河内長野市文化振興財団
Tel. 0721-56-6100

●香川県高松市 12月17日

♪音楽お届け便♪星に願いを〜ロマンティック・チェロ〜inプラネタリアム

サンポートホール高松の活動をPRするとともに、市民に鑑賞の機会を提供しようと、他の市立文化施設等で香川ゆかりの音楽家によるコンサートを開催する「音楽お届け便」。今回はクリスマスに合わせて、こども未来館プラネタリアムで瀬戸フィルハー

モニ交響楽団が聖夜の星空の下でロマンティックな音色を奏でる。

高松市こども未来館5Fプラネタリアム

サンポートホール高松
Tel. 087-825-5010

●宮崎県宮崎市 12月17日

パイプオルガン プロムナード・コンサート vol.173「オルブラ」

「土曜日の朝はオルガンでランチ」をコンセプトに、オルガニスト＝シェフ、司会＝ソムリエのレストラン仕立てで贈るコンサート。今回は、山口綾規(オルガニスト)と河野幸子(ソプラノ)を迎え、クリスマスにぴったりの楽曲をお届けする。4歳から入場が可能で、公演後にはパイプオルガンの公開レッスンも開催する。

メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)
Tel. 0985-28-3208

年越し・新春企画

●宮城県加美町 1月22日

バッハホール管弦楽団
New Year Concert 2023

市民オーケストラのバッハホール管弦楽団による恒例のニューイヤーコンサート。『スッペ/詩人と農夫』のほか、オペラのアリアや東北地方の民謡、映画音楽などの演奏で加美町の新年を祝う。青少年の鑑賞促進企画として、窓口でのチケット購入時に、小学3年生~高校3年生が対象の次の演奏会の招待券50枚を先着配布する。

中新田バッハホール
Tel. 0229-63-7367

●群馬県高崎市 1月1日

第33回高崎元旦コンサート

高崎芸術劇場を拠点とする群馬交響楽団(群響)と、豪華ソリスト(ヴァイオリン：服部百音、ピア

ノ：金子三勇士、テノール：宮里直樹)が共演する元旦コンサート。指揮は劇場の芸術監督も務める大友直人。群響は1945年に戦後の荒廃の中で文化を通した復興を目指して設立された。2023年4月には常任指揮者に飯森範親が就任の予定で、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指す。

高崎芸術劇場
Tel. 027-321-7300

●群馬県前橋市 1月15日

2023 NEW YEAR CONCERT

今回で7回目となる前橋ゆかりの気鋭の4名の演奏家による前橋テルサ恒例のニューイヤーコンサート。渋川ナタリ(ピアノ)、羽鳥美紗紀(フルート)、今井俊輔(バリトン)、豊田麻理奈(ソプラノ)が共演し、『美しき青きドナウ』や歌劇『蝶々夫人』より「ある晴れた日に」などの名曲を披露する。

前橋テルサ
前橋市まちづくり公社
Tel. 027-231-3211



昨年のコンサートの様子

●埼玉県富士見市 1月22日

ニューイヤーコンサート2023
時空を超えて、音楽と旅する

トッパンホールのプロデューサー・西巻正史が、キラリふじみのために企画を続けるコンサートシリーズ。2023年のニューイヤーコンサートは、6名の精鋭アーティストが時空を超えた旅への水先案内人となり、濃密かつ精緻な室内楽の醍醐味を聴かせる。コンサート前日には、未就

学児をもつ家族を招待し、公開リハーサルも実施される。

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ キラリ財団
Tel. 049-268-7788

●東京都豊島区 1月7日、8日

【豊島区吹奏楽団&豊島区管弦楽団】ニューイヤーコンサート2023

2つの区民楽団による区制90周年の幕開けを祝うニューイヤーコンサート。豊島区吹奏楽団(7日)はP.グレイム作曲の交響的情景『地底旅行』やJ.ウィリアムズの交響組曲『ハリー・ポッターと賢者の石』などを、豊島区管弦楽団(8日)はI.ストラヴィンスキー作曲のバレエ組曲『火の鳥』や武満徹作曲の『系図』などを演奏する。

豊島区立芸術文化劇場
〈東京建物Brillia HALL〉
としま未来文化財団
Tel. 03-3590-7118



豊島区吹奏楽団&豊島区管弦楽団

●東京都渋谷区 1月3日

大和田レインボウ・プロジェクト
「さくらホール・ニューイヤー・ジャズコンサート2023」

2014年にスタートした、未来を担う子どもたちの音楽体験・発表の場「大和田レインボウ・プロジェクト」。9回目を迎える今回は、小学3年生から大学生までの管楽器を学ぶメンバー19人が、プロジェクト・リーダーでジャズピアニストの山中千尋と共に、モダンジャズの巨星マイルス・デイヴィスゆかりの楽曲にチャレンジする。

渋谷区文化総合センター

大和田 Tel. 03-3464-3251

●東京都墨田区 1月4日

新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2023 in すみだ曳舟《落語&オーケストラ》

墨田区の2つの公立文化施設、すみだトリフォニーホールと曳舟文化センターが連携して行う毎年恒例のニューイヤーコンサート。第1部は桂宮治による落語、第2部は新日本フィルハーモニー交響楽団による演奏(指揮:柴田真郁)となっており、ジャンルの違う2つの公演を同時に楽しめる。

☎曳舟文化センター劇場ホール
☎墨田区文化振興財団
Tel. 03-5608-1212

●神奈川県大和市 1月21日

市民がつくるコンサートvol.4 ニューイヤーコンサート

大和市で音楽活動を行う人々を対象に出演者を公募して実施するシリーズで、今回は初の試みとしてニューイヤーコンサートとして行う。メインホールの本格的な舞台での開催となるが、気軽にホールに親しんでもらいたいという思いから、チケット制を設けずに、自由に入退場ができる仕組みを取っている。

☎やまと芸術文化ホール
Tel. 046-263-3806

●愛知県東海市 12月25日

第7回東海市紅白歌合戦

東海市芸術劇場の冬の風物詩である市民参加型の公演で、今回7回目を迎える。参加者は東海市在住・在学・在勤であれば誰でもエントリーが可能で、出場権をかけて7月にオーディションを行い、選ばれた紅白それぞれ12組の出演者がボイストレーニングや舞台でのリハーサルなどを重ねて本番を迎える。

☎東海市芸術劇場

Tel. 0562-38-7030

●滋賀県大津市 12月31日

びわ湖ホールジルヴェスター・コンサート 2022

大阪交響楽団の演奏と沼尻竜典の指揮、桂米團治の進行による恒例のカウントダウンコンサート。3月に退任する沼尻にとって芸術監督として最後の大晦日となる。お馴染みのびわ湖ホール声楽アンサンブル、ジルヴェスター合唱団に加え、今年はゲストにルガーノ・パーカッション・アンサンブル(スイス)を迎え、打楽器の魅力が発揮された名曲が奏でられる。

☎滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール Tel. 077-523-7152

●大阪府東大阪市 1月22日

東大阪市文化創造館 新春スペシャル 篠崎“マロ”史紀&N響メンバーによるニューイヤー・コンサート ウィーン・スペシャル

NHK交響楽団第一コンサートマスターである“マロさん”こと、ヴァイオリニストの篠崎史紀は1997年以来“N響の顔”として国内外で活躍している。今回はN響のメンバーら6名と共に、名曲の数々を演奏するニューイヤーコンサートを開催。音楽の都ウィーンの魅力を知り尽くしたマロさんとN響メンバーの演奏と軽快なトークで新春のお祝いムードを盛り上げる。

☎東大阪市文化創造館
☎キョードーインフォメーション
Tel. 0570-200-888

●大阪市 12月31日

初心者の上の方伝統芸能ナイト「大晦日スペシャル」

豊かで多彩な上方芸能を初心者や外国人でも気軽に楽しめるよう、ハイライト部分を上演する人気企画。2006年から200

回以上行われ、毎年大晦日は特別プログラムとして日を跨いで開催。今年は山本能楽堂当主の山本章弘による能や、人形浄瑠璃、落語、女道楽、お座敷遊びの5演目を上演し、鏡開きや振る舞い酒などで新年を祝う。

☎山本能楽堂

Tel. 06-6943-9454

●兵庫県西宮市

12月24日、25日

兵庫県立ピッコロ劇団 ファミリー劇場『飛んで 孫悟空』

2005年、当時ピッコロ劇団代表を務めていた別役実が劇団のために書き下ろした、歌と踊りと笑いが詰まったちょっと風変わりな「西遊記」。大人も子どもも、家族で楽しめる作品となっている。公演に先立って、おはなし会やバックステージ解説など、公演がさらに楽しくなる「知っとこ西遊記!」も行われる(12月3日・要事前申し込み)。

☎兵庫県立芸術文化センター

☎兵庫県立ピッコロ劇団

Tel. 06-6426-8088

●広島県三原市 1月9日

三原市芸術文化センター開館15周年記念 みはら風と海のコンサート

開館15周年を記念し、未来へ新たな一歩を踏み出す特別コンサートを開催。世界で活躍する指揮者・山田和樹のプロデュースにより、The Rev Saxophone Quartet、東京混声合唱団、広島出身のピアニスト・萩原麻未が出演する。ハワイエでの0歳からのコンサートや市民参加の合唱コーナーを含む5つのプログラムで構成。音楽あふれる1日をお届けする。

☎三原市芸術文化センターポロ 園みはら文化芸術財団

Tel. 0848-81-0886

●広島県福山市 1月5日

ニューイヤーコンサート2023

福山城築城400年を記念し、ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団の奏でる本場のウィンナ・ワルツやポルカなど、明るい音楽と優雅な舞踏で新年を華やかに過ごす演奏会。現地のウィーン子に長く愛され続けるオペレッタの殿堂ウィーン・フォルクスオーパーから、ウィーンの香りをお届けする。

☎ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ

Tel. 084-928-1810

●山口県防府市 1月6日~9日

第22回防府音楽祭(ほうふニューイヤーコンサート2023)

防府市出身のチェロ奏者である田中雅弘が音楽監督を務める音楽祭。国内外で活躍中のアーティストが集結し、2年ぶりに生で行う街角コンサートや、管打楽器特別公開クリニックのほか、防府アスピラート児童合唱団「Fanfareファンファーレ」との共演など、さまざまなプログラムを展開する。

☎防府市地域交流センターアスピラートほか

☎防府市文化振興財団

Tel. 0835-26-5151

●北九州市 1月14日

新春の調べ ~お箏、三味線とピアノのコンサート~

和楽器とピアノの新春コラボレーションステージ。福岡で活躍する宮本直美(箏)、安田勝竜(三味線)、松元紗綾(ピアノ)の3名のアーティストが共演し、黒田節、『さくらさくら』や情熱大陸のテーマなどの名曲をお届け。箏と三味線、その音色に調和するピアノの旋律に新春を感じられる特別コンサート。

☎黒崎びびしんホール

Tel. 093-621-4566

地域通信

●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4066
letter@jafra.or.jp
地域創造情報担当 梅村・矢嶋

●2023年2月号情報締切

2022年12月21日(水)

●2023年2月号掲載対象情報

2023年2月～4月に開催もしくは募集されるもの

北海道・東北

●札幌市

札幌文化芸術劇場 hitaru
(札幌市芸術文化財団)
〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目
札幌市民交流プラザ
Tel. 011-271-1950 劇場事業課
<https://sapporo-community-plaza.jp/theater.html>

hitaruオペラプロジェクト『フィガロの結婚』カヴァーキャストによるスペシャルコンサート アンコウ先生のお話とともに

2月のhitaruオペラプロジェクト『フィガロの結婚』本公演に先駆け、カヴァーキャスト(メインキャストに不測の事態が発生した場合、代役として本番の舞台で歌う人たち)として参加している歌手による、一夜限りのコンサートを開催。パフォーマンスの間には作中に出てくるキャラクターや時代背景など演出家のアンコウ(三浦安浩)先生の解説も予定している。

[日程]12月23日

[会場]札幌文化芸術劇場 hitaru

●北海道深川市

深川市文化交流ホールみ・らい
〒074-0005 深川市5条7-20
Tel. 0164-23-0320 三ツ井育子
<https://fukagawa-mirai.com/>

創作市民ミュージカル『夢をおいかけの瞳～あれから10年』

市民の脚本により、10年前に上演した市民ミュージカル『夢をおいかけの瞳』を、10年後の人々の生活や地元の変化に焦点を当てた物語としてリメイクして上演する。初演時の演出家を起用し、初演時の出演者に加え、新たに公募した市民も出演。また地元の幼稚園やゴスペルグループも参加する。公演に先駆けて音楽・演劇・ダンスなど多彩なアウトリーチを市内の小中学校で実施。

[日程]12月11日

[会場]深川市文化交流ホール
み・らい

●宮城県塩竈市

塩竈市杉村惇美術館
〒985-0052 塩竈市本町8-1
Tel. 022-362-2555 阿部沙斗加
<https://sugimurajun.shiomo.jp/>

杉村惇作品展 存在と空間の伝説～季節の韻律～

杉村惇(1907～2001)が描いた丁寧かつ正確で軽やかなスケッチと、それを元に大胆かつ重厚に描かれた油彩との対比を楽しめる展覧会。作品は、向日葵や柘榴、あけび、紅葉した風景や落ち葉など季節溢れる題材が並ぶ。関連企画として、大講堂でのコンサートや杉村作品を描いてみる絵画講座、作品をイメージしたフラワーアレンジメントのワークショップなども開催する。

[日程]11月19日～2023年1月15日

[会場]塩竈市杉村惇美術館



杉村惇《アフガニスタンの絆》(F12号/1995年/仙台市所蔵)

●山形県東根市

東根市公益文化施設まなびあテラス
〒999-3730 東根市中央南1-7-3
Tel. 0237-53-0229 土屋麻美
<https://www.manabiaterace.jp/>

●東根市収蔵品展

菅原洗人 内なる光を求めて

東根市出身の画家・菅原洗人(1922～2013)の生誕100年を

記念した展覧会。菅原が好んで描いたのは、ヨーロッパを筆頭に滞在地の街角や路上の暮らしが感じられる風景画、自身のキリスト教への信心をこめた聖画。本展では、自ら綴った菅原の自叙伝『四角い太陽』を手がかりに、東根市が収蔵する資料約20点を展示する。

[日程]11月3日～2023年1月9日

[会場]東根市公益文化施設まなびあテラス/東根市美術館

関東

●栃木県宇都宮市

宇都宮美術館
〒320-0004 宇都宮市長岡町1077

Tel. 028-643-0100 小堀・黒木
<http://u-moa.jp/>

開館25周年記念 全館コレクション展「これらの時間についての夢」

20世紀以降の美術・デザイン作品を中心に収蔵し、さまざまな切り口から作品の魅力を紹介してきた宇都宮美術館。開館25周年を記念し、開館から現在に至るまで同館が収蔵してきた名品200点余りを、「時間」というテーマで多面的に展示する。1997年の第1回コレクション展の再現展示から、3名の招聘アーティスト(大巻伸嗣・高橋銚・力石咲)の新作まで、同館の“これまで”と“これから”を見ることができる。

[日程]9月25日～2023年1月15日

[会場]宇都宮美術館

●栃木県小山市

小山市立車屋美術館
〒329-0214 小山市乙女3-10-34
Tel. 0285-41-0968 五十嵐直子
<https://www.city.oyama.tochigi.jp/site/>

Articulation—区切りと生成—

ゲスト出品する彫刻家の藤原彩人のほか、近年日本でも広まりつつある「芸術に基づく研究

▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

(ABR)」に携わる作家13名による絵画や彫刻など、さまざまな作品を展示する。国登録有形文化財「小川家住宅」も使った展示を通して、楽しみながら美術の新たな視点を体験できる。企画展示室には作家が自らの作品を批評した論文を掲載した図録が置かれ、作家の思考にふれられる構成になっている。

[日程] 10月22日～11月20日、11月23日～12月18日

[会場] 小山市立車屋美術館

●千葉県市原市

市原湖畔美術館

〒290-0554 市原市不入75-1
Tel. 0436-98-1525 前田礼

<https://lsm-ichihara.jp/>

試展—白州模写「アートキャンプ白州」とは何だったのか

1985年より山梨県白州に移り住み、「身体気象農場」を開き農業を始めたダンサー・田中浜を中心として20年以上繰り返された「アートキャンプ白州」。本展は、かつて白州に通っていたアーティストの名和晃平をゲストキュレーターに迎え、映像やアート、パフォーマンス、シンポジウム、アーカイブ、出版等を通じて、白州での20年以上にわたる足跡と現代における可能性を写し出す。

[日程] 10月29日～2023年1月15日

[会場] 市原湖畔美術館

●東京都板橋区

板橋区立美術館

〒175-0092 板橋区赤塚5-34-27

Tel. 03-3979-3251 高木佳子

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/index.html>

三浦太郎展 絵本とタブロー

『くつついた』や『ちいさなおうさま』など話題の絵本を次々に出版してきた三浦太郎の絵本とタ

ブローの仕事を紹介する展覧会。絵本原画や新作のタブローに加え、初公開となる風景スケッチなども展示し、それらの制作過程も紹介する。期間中には、三浦との対談や絵本講座、3歳から小学生まで子どもとその保護者を対象にしたスタンスルのワークショップも開催。

[日程] 11月19日～2023年1月9日

[会場] 板橋区立美術館

●東京都狛江市



(一財) 狛江市文化振興事業団
〒201-0013 狛江市元和泉1-2-1

Tel. 03-3430-4106 鈴木秀亮
<https://ecorma-hall.jp/>

Re:Start～エコルマホール～プレ・コンサート

2021年9月からの大規模改修を終え、12月11日のリニューアルオープン前日に、お披露目を兼ねて行うプレ・コンサート。出演する新居由佳梨(ピアノ)、松本蘭(ヴァイオリン)は、リニューアルオープンに向けて、市内公民館でお話を交えたミニコンサート「Re:Start～エコルマホール」を実施してきた。本コンサートはその集大成となる。

[日程] 12月10日

[会場] エコルマホール

●東京都武蔵野市

吉祥寺シアター

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-33-22

Tel. 0422-22-0911 吉田恭大

https://www.musashino.or.jp/k_theatre/

吉祥寺ダンスLAB.5

『千年とハッ』

さまざまなジャンルのコラボレーションをコンセプトに制作するシリーズ企画。今回は、「短歌を詠むダンサー」で振付家の浦田悠と、ヴォーカリストで独自の声と歌を使ったパフォーマンスで話

題の田上碧が共演。コラボレーションで新作を制作し、試演会を経て本番を上演する。言葉と声、身体と歌、呼吸と身振り、さまざまなレイヤーを掛け合わせたパフォーマンスが繰り返される。

[日程] 12月8日、11日

[会場] 吉祥寺シアター

●横浜市

象の鼻テラス

〒231-0002 横浜市中区海岸通1丁目

Tel. 045-661-0602 大越晴子

<https://fsp.zounohana.jp/>

ZOU-NO-HANA

FUTURESCAPE PROJECT 2022

象の鼻テラスをより居心地のよい空間にするため、アートにできることを模索し実験を試みるプロジェクト。今年は「ネクストノーマル・ナイトライフ」をテーマに、東弘一郎、上野悠河、L PACK.、高橋匡太、WA!moto. という5名の招待作家による「アートプログラム」を中心に、若く自由な発想を集めた「大学参加プログラム」、横浜の企業やクリエイターが集う「ナイトマルシェ&ミュージック」を開催。

[日程] 12月9日～11日

[会場] 象の鼻テラス・象の鼻パーク

北陸・中部

●新潟市

新潟市芸術文化振興財団

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2

Tel. 025-224-5615 坂内佳子

<https://www.ryutopia.or.jp/>

Noism0+Noism1

『Der Wanderer さすらい人』

2022年9月から国際活動部門・地域活動部門を新設、各部門の芸術監督に井関佐和子、山田勇気が就任し、活動をさらに充実させている、りゅーとぴあ専属舞踊団Noism Company

Niigata。新たに芸術総監督となった金森穰が、新生Noismのスタートとして、シューベルトの歌曲をモチーフにした新作を手がける。舞踊家一人ひとりがソロで立てるだけの力量を有した個人の集合としての集団を目指す。

[日程] 2023年1月20日～2月4日

[会場] りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館

●福井県坂井市

坂井市文化振興事業団

〒913-0042 坂井市三国町中央1-5-1

Tel. 0776-82-7200 鷲田めぐみ

<https://www.sakai-bunka.jp/miraihall/>

『この町のあなた』

中高生演劇ワークショップ@みくに未来ホール 成果発表公演

地域で活躍するアーティストと共に、5月から12月まで約8カ月間かけて演劇ワークショップを行ってきた中高生7人による成果発表公演。参加者のうち3人がワークショップの経験を活かしながらそれぞれ執筆した短編戯曲を、オムニバス形式で上演する。また参加者は全員が役者として出演するほか、演出や衣装、小道具製作などスタッフワークにもチャレンジする。

[日程] 12月17日、18日

[会場] みくに未来ホール

●富山県富山市

富山県美術館

〒930-0806 富山市木場町3-20

Tel. 076-431-2711 内藤和音

<https://tad-toyama.jp/>

富山県美術館開館5周年記念

デザインスコープ —のぞくふしぎ きづくふしぎ

“デザイン”というレンズを通して視点を「デザインスコープ」と名付け、現在第一線で活躍するデザイナーやアーティストと対話を重ね、マイクロ/マクロの視点か

ら現況を俯瞰する展覧会。音や映像などを用いた空間全体を楽しむことができる作品など、鑑賞するだけでなく、来館者が「気づく」「感じる」「発見する」参加型の展示を通して、デザインとアートがもつ創造的なエネルギーを体感できる。

[日程]12月10日～2023年3月5日
[会場]富山県美術館



鈴木康広《空気の人》(東京ミッドタウン芝生広場/2018年) photo: 鈴木康広

●岐阜県岐阜市

サラマンカホール
〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53

Tel. 058-277-1113 金子根古
<https://salamanca.gifu-fureai.jp/>

サラマンカホール・プロデュース・オペラ マスネ作曲『サンドリヨン』

子どもも大人も楽しめるオペラとして好評を博している「サラマンカ・プロデュースオペラ」。今年、19世紀末にフランスの作曲家マスネが『シンデレラ』をオペラ化した作品をフランス語で上演する(日本語字幕付き)。出演者は東海地方出身・在住者を中心に行ったオーディションにより選出。サラマンカホールならではのパイプオルガンを使った編曲と新演出で、より集中し



サラマンカホール・プロデュース・オペラ 木下敦子作曲『不思議の国のアリス』(2021年12月)

て音楽を堪能できる作品に仕上げる。

[日程]12月16日、17日
[会場]サラマンカホール

近畿

●滋賀県大津市

滋賀県立美術館
〒520-2122 大津市瀬田南大萱町1740-1

Tel. 077-543-2111 田野葉月
<https://www.shigamuseum.jp/>

シュウカツ! 護る、伝える、保存修理活動

新たな美術品を収集する「収活」、収集した文化財を良好な状態で保存・公開するため作品を修理する「修活」。これら「シュウカツ」は美術館の重要な任務だが、展覧会や教育普及活動などとは異なり、普段来館者の目に入らない。本展はマザーレイク寄附金で修理した横井金谷の屏風などの多様な素材と技法の「修理」を、作品の物質的構造とともに紹介することでシュウカツを可視化する。

[日程]11月29日～2023年1月29日

[会場]滋賀県立美術館

●京都府宇治市

宇治市民文化会館
〒611-0023 宇治市折居台1-1
Tel. 0774-39-9333 築澤有奈
<https://www.ujishibunkakaikan.jp/>

音楽に出会うワンコインコンサートVol.2～宇治ゆかりの名手たち～

人気アニメ『響け! ユーフォニアム』の舞台・宇治市ゆかりの音楽家を迎えたワンコインコンサート。田中玲奈(フルート)はドイツで生まれ、帰国後は中学高校時代を宇治市で過ごし、高見信行(トランペット)は宇治シティーフィルハーモニーの団員にレッスンをしていたことをきっかけに同フィルと共演し、好評を

博した。木管・金管のそれぞれの花形楽器といわれるフルートとトランペットの魅力に迫る。

[日程]12月10日
[会場]宇治市民文化会館

●神戸市

神戸文化ホール
〒650-0017 神戸市中央区楠町4-2-2

Tel. 078-351-3397 岡野・楨尾
<https://www.kobe-bunka.jp/hall/>

神戸文化ホール チャレンジジャンボリー2022「ああオルタンシア! ナゾトキぐるぐるびゅんびゅん大劇場!!(でも中ホール)」

神戸文化ホールや中央体育館前広場など近隣スポットを巡り、神戸市室内管弦楽団メンバーで編成されたスペシャルクインテット(弦楽五重奏)の生演奏と芝居を楽しみながら、施設に仕掛けられた6つの謎解きに挑戦する、子どもから大人まで楽しめるイベント。台本制作を山本正典(コトリ会議)、演出・構成を大熊隆太郎(壺劇屋)、謎制作を宮地泰史(七国プランニング)が手がける。

[日程]11月26日
[会場]神戸文化ホール

●兵庫県西宮市

西宮市大谷記念美術館
〒662-0952 西宮市中浜町4-38
Tel. 0798-33-0164 内村・作花
<http://otanimuseum.jp>

開館50周年記念特別展 Back to 1972 50年前の現代美術へ

大谷記念美術館は1972年に開館し、今年50周年を迎えた。本展では、同館が開館した1972年に制作された主に関西の現代美術作品を、〈[1972年]という時代〉、〈[1972 京都ビエンナーレ]と関西のアートシーン〉、〈[具体美術協会]の変遷〉、〈現代美術の点景〉、〈版画の躍進〉

の5つのテーマに沿って構成し、開館当時の美術の潮流を振り返る。

[日程]10月8日～12月11日
[会場]西宮市大谷記念美術館

中国・四国

●島根県安来市

安来市総合文化ホール アルテピア

〒692-0014 安来市飯島町70
Tel. 0854-21-0101 坂口寛

<https://www.artepia.jp/index.php>

HAGANE MUSIC 2022 第四弾 カテリーナ&齊藤浩

安来市の象徴であり、伝統でもあるハガネ(鋼)になぞらえてアーティストをアルテピアに招聘する「HAGANE MUSIC」の第4弾。ウクライナ民族楽器バンドウラを演奏するのは、日本に2人しかいない演奏者の内の1人カテリーナと、ハンガリー民族楽器ツィンパロンを演奏するのは、アジア人で初めてツィンパロン・ソリストディプロマを授与された打楽器奏者の齊藤浩を迎え、異国の民族楽器のコラボレーションをお届けする。

[日程]12月17日
[会場]安来市総合文化ホールアルテピア

●岡山県奈義町

奈義町現代美術館
〒708-1323 勝田郡奈義町豊沢441

Tel. 0868-36-5811 武下明日香
<https://www.town.nagi.okayama.jp/moca/>

麻生知子・竹内明子〈ワタリドリ計画〉奈義の旅

画家の麻生知子と武内明子が展示場所と作品の題材を求めて日本全国を飛んでいくアートプロジェクト「ワタリドリ計画」。2009年を皮切りに各地で開催され、旅と展覧会を続けてきた。2022年春に旅したのは岡

▼— 今月の情報

アートセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

山形の県北にある奈義町。そのときに見たものを元に制作された個性豊かな作品を通して、新たな奈義町、そして奈義町現代美術館を知ることができる。

[日程] 11月12日～12月11日

[会場] 奈義町現代美術館

●山口県下関市

下関市立美術館

〒752-0986 下関市長府黒門東町1-1

Tel. 083-245-4131 渡邊祐子

<https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/>

ビアズリーの系譜 アールヌーヴォー、日本の近代画家たち

19世紀末美術に特異な位置を占める画家、オーブリー・ビアズリー(1872～98)に注目し、代表作『サロメ』を中心に、耽美的な魅力を紹介する。また、アールヌーヴォーなど同時代の美術と、西洋美術の受容期にあった日本の画家たちの作品・資料から、「ビアズリー的なもの」の系譜を見出す。会期中にはビアズリーのクリエイションを現代に置き換えて体感するファッションショー&トークも開催。

[日程] 11月19日～2023年1月29日

[会場] 下関市立美術館

●徳島県鳴門市

鳴門市ドイツ館

〒779-0225 鳴門市大麻町松字東山田55-2

Tel. 088-679-9110 長谷川純子

<https://doitsukan.com/>

ドイツ人捕虜が表現した徳島の情景展

鳴門市ドイツ館は、第一次世界大戦時に日本軍の捕虜となったドイツ兵を収容した「板東俘虜収容所」について、そこで過ごしたドイツ兵たちの活動の様子や地域の人々との交流の様子を展示した史料館。約千人のドイツ

人捕虜が収容された板東には、彼らのさまざまな活動の資料が残され、なかでも収容所外の風景画は印象的である。異国で捕虜となったドイツ人たちの眼に、板東とその周辺の風景はどのように映ったのか、第一次世界大戦時における板東資料の独自性に着目する。

[日程] 10月7日～12月27日

[会場] 鳴門市ドイツ館

九州・沖縄

●熊本県小国町

坂本善三美術館

〒869-2502 阿蘇郡小国町黒淵2877

Tel. 0967-46-5732 山下弘子

<https://sakamotozenzo.com/>

コレクション・リーディングvol.6 Over50で楽しむ善三展

医療・福祉分野と連携し、町内の50歳以上の方々の表現・制作活動を坂本善三作品とともに紹介する。展覧会に際し、高齢者の表現・制作活動を調査し、単に“趣味”として一括りにされていた活動を、作品だけでなくそれを生み出す生活とともに“人生の表現”として紹介する。関連イベントでは、カフェでお茶しながらのスマホ教室など、社会福祉協議会や教育委員会などが通常行っている企画を少し趣向を変えて実施している。

[日程] 9月17日～12月11日

[会場] 坂本善三美術館

●熊本県津奈木町

つなぎ美術館

〒869-5603 葦北郡津奈木町岩城494

Tel. 0966-61-2222 楠本智郎

<https://www.tsunagi-art.jp/>

たろうつなぎプロジェクト成果展「たろうとニッポン画わたし話」

ニッポン画家のたろうと住民と一緒に津奈木の過去と未来を繋ぎ、“新しい”昔話を生み出す

アートプロジェクトの成果展。津奈木に長く暮らしている人々からたろうが聞いた「わたしの話」を元に、5つの“新しい”昔話を創作。その昔話から子どもたちが挿絵を考え、たろうはそれをヒントに津奈木で使われなくなった襖などにニッポン画を制作した。本展では、これらの作品とプロジェクトのプロセス、たろうの過去の作品などを展示する。

[日程] 11月26日～2023年1月22日

[会場] つなぎ美術館



2022年夏に開催したワークショップの様子

●大分県大分市

コンパルホール

〒870-0021 大分市府内町1-5-38

Tel. 097-538-3700 安部・中嶋

<http://www.compallhall.jp/>

音楽劇スタイルコンパルホールリーダーズシアター

一般公募で集まった小学生から大人までの市民約30人が、タイムスリップをテーマにしたオリジナルの朗読劇を披露する。ヴァイオリニスト・朝来桂一率いる大分で活躍中の演奏家で結成された弦楽カルテット、ボカグループStarLightsをゲストに迎え、豪華な演奏でクリスマスソングなどを披露する。

[日程] 12月11日

[会場] コンパルホール

●宮崎県三股町

三股町立文化会館

〒889-1901 北諸県郡三股町大字樺山3404-2

Tel. 0986-51-3462 廣津大介

<https://bunka.town.mimata.lg.jp/>

三股町総合文化施設開設20周年記念事業 町民参加型演劇公演「しあわせなら手をたたこう」

2021年の三股町立文化会館開設20周年を記念して、町民参加演劇公演が上演される。脚本は2020年に会館で行われた戯曲講座「せりふ書いてみる?」の受講者によるもので、みまた演劇フェスティバルのディレクターを務めるなど三股町でさまざまな演劇活動が続けてきた劇団こふく劇場の永山智行が構成・演出を手がけ、公募で集まった町民により演じられる。

[日程] 12月24日、25日

[会場] 三股町立文化会館

●沖縄県那覇市

那覇文化芸術劇場なはーと

〒900-0015 那覇市久茂地3-26-27

Tel. 080-3957-1656 (AIO事務局)

林(なはーと)・内間(AIO)

<https://artnaha.okinawa/>

ART NAHA～まちなかの展覧会

現代アートを通じた国際交流や人材育成を展開する「AIO (Art Initiative Okinawa アートイニシアチブオキナワ)」と那覇文化芸術劇場なはーとが協働実施する国際交流展。地域の人々との対話、フィールドワーク、リサーチに基づき、都市の社会構造や文脈と表現を結びつけながら作品を制作し、劇場周辺のまちなかの店舗や公園、空きスペースを舞台とする企画展や公募展を開催。会期中はアーティストと来場者が交流するトークイベントなども行う。

[日程] 12月3日～18日

[会場] 那覇文化芸術劇場なはーとを含む周辺地域、公園や協力店舗など

財団からのお知らせ

●「特別寄稿 ビューポイント view point」掲載について

地域創造ホームページ限定で、有識者やキーパーソンから文化芸術および公立文化施設等におけるチャレンジングな取り組みを寄稿していただくコーナー「特別寄稿 ビューポイント view point」。2020年9月からスタートし、これまで8名の方にご寄稿いただいています。

9回目となる今回は、文化事業ディレクター・演出家の吉川由美さんにご寄稿いただきました。震災前・震災後に取り組んできた宮城県南三陸町でのアートプロジェクトなど、地域でアートプロジェクトに携わってきた有識者としての思いや見解をお寄せいただいています。

芸術分野のさまざまな領域で活躍する有識者・キーパーソンの方々の取り組みを、ぜひご覧ください。

<https://www.jafra.or.jp/library/other/6902.html>



吉川由美さん



南三陸町東日本大震災伝承館「南三陸311メモリアル」

◎これまでの寄稿一覧

| 寄稿者 ※敬称略、肩書は掲載時点 | 掲載日 |
|--------------------------------------|-------------|
| 北川フラム(アートフロントギャラリー主宰) | 2020年 9月17日 |
| 仲道郁代(ピアニスト) | 2020年12月15日 |
| 田村緑(ピアニスト) | 2021年 3月12日 |
| 村田真宏(前 豊田市美術館 館長) | 2021年 4月 1日 |
| 福井健策(骨董通り法律事務所 For the Arts 代表パートナー) | 2021年 7月 6日 |
| 吉澤延隆(箏奏者) | 2021年10月12日 |
| 田村一行(舞踏家・振付家) | 2021年12月20日 |
| 平田オリザ(劇作家・演出家・青年団 主宰) | 2022年 3月28日 |

●「公共ホール求人情報」掲載お申し込み方法

登録フォームにアクセスいただき、必要事項を直接ご入力ください。送信を行うには、フォーム最下部の投稿用認証キー欄へID、パスワードの入力が必要です。

※スパム対策のため、登録フォームURLおよびログインID、パスワードはホームページ上に記載していません。地域創造レターをご確認いただくか、地域創造までお問い合わせください。

- 求人情報登録フォームへアクセス。
- 登録フォームに沿って、必要事項を入力してください。
- フォームの最下部にある投稿用認証キー欄にID、パスワードを入力。
- 登録を完了すると自動で登録完了をお知らせするメールがお手元に届きます。
- 地域創造が内容を確認後、ホームページに情報を公開します。公開完了はメールでお知らせします。登録から情報公開までは2〜3日程度お時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

※情報を修正する場合には、「修正フォーム」へアクセスし、投稿用認証キー欄に登録時に使用したメールアドレス・ID・パスワードを、No.入力欄に公開完了のメールに記載した登録No.をご入力の上、「編集する」をクリックしてください。フォームから情報を修正し登録を完了すると、自動で登録完了をお知らせするメールが届きます。新規登録時と同じく、情報公開までは2〜3日程度お時間をいただく場合がありますのでご了承ください。

●「特別寄稿 ビューポイント view point」に関する問い合わせ
芸術環境部 藤原
Tel. 03-5573-4183

●公共ホール求人情報に関する問い合わせ
芸術環境部 人材育成担当
jinzai@jafra.or.jp

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

●令和4年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」がスタート

「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」では、クラシック音楽にふれる機会の少ない方や地域の方々にとって新たな発見や交流の場になることを目指し、工夫を凝らしたコンサートとアクティビティ(地域交流プログラム)を実施しています。令和4年度は、5組の登録アーティストが全国13カ所の地域に赴き、音楽を届けます。今号では、その中から10月21日～23日に開催した大分県宇佐市の模様をご紹介します。

宇佐市は、大分県の北部に位置する人口約5万3,000人の自然溢れるまちです。今回のおんかつは、大小の谷から成る院内エリアにある宇佐市院内文化交流ホールの30周年記念事業として、パーカッションの新野将之さん(共演: 富田真以子さん)を招いて開催されました。

アクティビティは、院内中部小学校・南院内小学校5・6年生(合同)、院内北部小学校5・6年生、小学生から高校生が所属する地元の太鼓チーム「院内童龍太鼓」、南院内さとづくり協議会、と地域のさまざまな方々を対象に計4回実施しました。

院内童龍太鼓のアクティビティでは、言葉を使わずに楽器だけでコミュニケーションを図るドラムサークルが行われました。新野さんの刻むリズムに対して、子どもたちが自由なリズムで返し、徐々に子どもたちの表情が和らいでいくのが印象的でした。また、南院内さとづくり協議会のアクティビティは、市の観光名所である「宇佐のマチュピチュ展望台」で開催され、快晴の空の下、さまざま

な打楽器の音色が響く、野外ならではのミニコンサートとなりました。

最終日のコンサートでは、新野さんと院内童龍太鼓が共演し、この日しか聴くことができない楽曲が数多く披露されました。院内エリアの幅広い世代の方々が集まり、ホールの30周年記念に相応しいコンサートとなりました。



大分県宇佐市 新野将之さんによるアクティビティ(上: 院内童龍太鼓/下: 南院内さとづくり協議会)

●令和4年度「公共ホール音楽活性化事業」参加団体

- (主会場/アーティスト/日程) ※予定
- 宮城県角田市(かくだ田園ホール/竹多倫子/12月15日～18日)
 - 福島県白河市(白河市東文化センター/竹多倫子/11月8日～12日)
 - 茨城県牛久市(牛久市中央生涯学習センター/新野将之/2023年2月24日～26日)
 - 千葉県木更津市(木更津市民会館/新野将之/2023年2月2日～4日)
 - 千葉県成田市(成田市文化芸術センター/新野将之/12月1日～3日)
 - 山梨県甲斐市(甲斐市双葉ふれあい文化館/齊藤一也/2023年3月9日～11日)
 - 三重県伊賀市(あやま文化センター/竹多倫子/10月31日～11月3日)
 - 京都府舞鶴市(舞鶴市総合文化会館/新野将之/2023年1月20日～22日)
 - 大阪府東大阪市(東大阪市文化創造館/石上真由子/11月24日～26日)
 - 広島県海田町(織田幹雄スクエア/梅津碧/2023年1月19日～22日)
 - 香川県丸亀市(丸亀市綾歌総合文化会館/石上真由子/2023年1月27日～29日)
 - 長崎県佐世保市(アルカスSASEBO/石上真由子/2023年2月2日～4日)
 - 大分県宇佐市(宇佐市院内文化交流ホール/新野将之/10月21日～23日)

●公共ホール音楽活性化事業に関する問い合わせ

芸術環境部 永田
Tel. 03-5573-4064

●令和4年度市町村長特別セミナー「地域経営塾」終了報告

文化・芸術による地域づくりへの理解を深めていただく研修として、全国市町村国際文化研修所(JIAM)と地域創造の共催により「市町村長特別セミナー『地域経営塾』」を実施しています。今年度は10月27日、28日の2日間にわたって開催され、1日目には文化・芸術によるまちづくりに関する講義と、おんかつ支援登録アーティストによるミニコンサートを実施しました。

劇作家・演出家で芸術文化観光専門職大学学長の平田オリザさんによる講義は、「本気の文化によるまちづくり」と題し、人口減少が進むなかで、地域として魅力的な町とは何かを考えました。劇場を新しい広場として居場所づくりや出番づくりを行い、文化

による社会包摂を行っていくことで、結果的に行政コストや社会のリスクも軽減していくという話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。また、豊岡市に文化観光政策を専門的に学べる芸術文化観光専門職大学が出来たことで、町を出ていくばかりだった若者が地域に残る、地域を変えていくという選択肢ができたということも、事例として挙げられました。

講義に続いて行われた、マリンバ・打楽器奏者の宮本妥子さん(共演: 後藤ゆり子さん)によるミニコンサートは、楽器の紹介から、身の周りのものを使った演奏、参加者の打楽器体験等、多彩なプログラムになりました。また、詩の朗読と自作の曲の演奏

のコラボレーションを行うことで、言葉の表面的な意味だけでなく、言葉がもつさまざまな響きを考えられる素敵なアウトリーチ体験になりました。



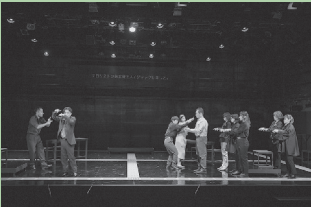
宮本妥子さん、後藤ゆり子さんによるミニコンサートの様子

▼—今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

神戸市

神戸アートビレッジセンター(KAVC) プロデュース公演 手話裁判劇『テロ』



舞台写真撮影：河西沙織

●手話裁判劇『テロ』

[会期] 2022年10月5日～10日(全10回)

[会場] KAVCホール

[原作] フェルディナント・フォン・シーラッハ『テロ』(東京創元社刊)

[演出] ピンク地底人3号(ピンク地底人/ももちの世界)

[企画製作] 神戸アートビレッジセンター

*1 神戸アートビレッジセンター(KAVC)寂れてしまった歓楽街・新開地を文化・芸術のまちとして活性化させる「新開地アートビレッジ構想」を基に阪神淡路大震災の翌年、1996年4月に開館。マンションとの複合で、ホール(約230席)、映像シアター(94席)、ギャラリー、アトリエなどを備え、若手芸術家のチャレンジと新開地活性化を目指し、演劇・ダンス・美術・映像などクロスメディアな活動を展開。2017年度から神戸市民文化振興財団が指定管理者として運営し、NPO法人DANCE BOXのエグゼクティブディレクターの大谷煥が館長、演出家のウォーリー木下が舞台芸術プログラムディレクターに就任。神戸市は、近隣がマンション街として発展したことを受けてKAVCの設置条例を一部改正。2022年10月から施設の改修を行い、23年4月からは「子どもをはじめとするあらゆる世代の人々の交流による芸術その他の文化の創造、育成および情報発信の拠点」として名称を「新開地アートひろば」に変更し、再出発する予定。

*2『テロ』

ドイツ上空でテロリストが旅客機をハイジャック。緊急発進したドイツ空軍少佐は、7万人が集うサッカースタジアムへの墜落を避けるため、上官の命令に背いて旅客機を撃墜。乗客164人を犠牲に7万人を救った少佐は有罪か無罪か一判決を観客の投票によって決定し、それによって結末が変わる裁判劇。

2023年4月1日から「新開地アートひろば」に生まれ変わることが決定している「神戸アートビレッジセンター(KAVC)」^{(*)1}が、渾身のプロデュース作品である手話裁判劇『テロ』^{(*)2}を改修直前の施設で上演し、有終の美を飾った。

この作品は、KAVCの舞台芸術プログラムディレクターであるウォーリー木下が2019年に立ち上げた「KAVC FLAG COMPANY」(次代を担う関西の劇集団の育成と紹介を目指す年間での上演企画)の集大成としてプロデュースされたもの。コロナ禍の影響を受けながらも3年間で16劇団を紹介。その中から締め括りのプロデュース作品の演出家として、20年に同企画に参加した京都を拠点とする劇作家・演出家のピンク地底人3号(以下、3号)に白羽の矢を立て、手話裁判劇という新たな舞台創作に挑んだ。

そもそもなぜ手話劇なのか？ コロナ禍で演劇の配信について考えていた3号は、映像化すると演劇としての台詞の情報量が激減し、魅力が薄れることへの打開策として「言語が可視化される手話」に着目。手話をはじめとする「ろう文化」について取材を重ね、2021年に手話を取り入れた『サバクウミ』を創作し、オンライン配信した。

手話劇の模索を続けていた3号はKAVCからの依頼を受けて、共に手話劇に取り組んだことのある俳優・山口文子と、劇中の空軍少佐を裁く裁判長役にした手話裁判劇『テロ』の企画を提案。22年3月に演劇経験の有無、ろう者、難聴者、聴者を問わず全国から出演者を公募し、82名の応募者から全盲の関場理生を含む10名が選ばれた。

10月8日の本番を観たが、満員の客席には手話で会話している人や白杖を持つ人も散見され、客入れから手話通訳者が対応する万全の体制だった。ステージの四辺と中央通路は関場が歩きやすいよう点字ブロックで囲み、ステージ奥には字幕スクリーンを設置。ろう者と発声で演じる俳優が組み、手話とセリフで一役を二人で表現。時にそれぞれが独立した動きをしながら、手話と字幕と発声によるセリフが

交錯する丁々発止の裁判劇が観客の目の前で展開した。

弁護士と検察官の議論が手話と発声で白熱する中、夫を亡くした看護師役の関場がまっすぐな言葉を見えない客席に投げかけ、無言で歩く——その強い意志と存在感に心動かされる、濃密な鑑賞体験となった。

稽古は5月から断続的に約5カ月をかけて実施。稽古の取材時、3号は、「今回は、座組全員でルールをつくりながらコミュニケーションを深めて創作を共有する必要があった。その過程のすべてが、作品と同じ価値がある。普段の芝居づくりに比べ何十倍もやるがあった。1日の終わりには僕自身も脳と身体がクタクタになったが、でもこの創作の中には世の中を変えるきっかけが幾つも含まれている」と話していた。

一方の出演者たちは、次のように振り返る。

山口：「創作に参加する機会も限られている私にとって、3号さんからのお声がけは表現の改善や発見を重ねられる貴重な機会。ろう者は創作現場で、聴者の皆さんと情報共有できないことが一番つらいが、『テロ』の現場は私に限らず皆が伝え合えるよう工夫し、環境を整えてくださり、それが本当に有難かった」

関場：「視覚障がい者に向けた演劇はまだ少なく、今回のオーディションを知り、最初に考えたのは“まず飛び込んでみよう”ということ。“知り合おう”という想いの強い座組の皆さんに支えられ完走できた。来場した視覚障がい者の知人から、作品のテーマや企画の意義について深く考えた感想をいただいたことも嬉しかった」

3号は、「自劇団では『テロ』のような複合的な創作は難しく、ゼロから方法を一緒に考え、公演を実現してくれたKAVCさんには感謝しかない」と熱く語った。

来年4月からKAVCは子どもたちと子育て世代に訴求する文化施設を目指して再出発するという。だが20年以上にわたって積み重ねてきた若いアーティストとの繋がりや、今作が体現した多様な人と協働する創作の志が継承されることを、切に願うばかりだ。

(編集者・大堀久美子)